

資料3 既往の地震と今後の地震の発生確率

- 3-1 津波災害をもたらした既往地震
- 3-2 主な海溝型地震の発生間隔
- 3-3 海溝沿いの主な地震の今後30年以内の発生確率
- 3-4 これまでの中央防災会議における想定津波高
- 3-5 これまでの中央防災会議における想定津波高と
今次津波の比較

3-1 津波災害をもたらした既往地震

【北海道西岸～九州北部の日本海沿岸】

- 1993/07/12 北海道南西沖地震 (M=7.8、北海道南西、死者・不明者230人)
- 1983/05/26 日本海中部地震 (M=7.7、日本海沿岸、死者104人)
- 1964/06/16 新潟地震 (M=7.5、新潟県、死者26人)
- 1927/03/07 北丹後地震 (M=7.3、京都府北西部沿岸、死者2,925人)
- 1872/03/14 浜田地震 (M=7.1、島根県、死者550人)

【海外の沿岸で発生し日本に影響を与えた津波】

- 2010/02/27 チリ地震 (M=8.8、太平洋沿岸)
- 2001/06/23 ペルー南部地震 (M=8.2、太平洋沿岸)
- 1996/02/17 インドネシア地震 (M=8.1、太平洋沿岸)
- 1965/02/04 アリューシャン地震 (M=8.7、太平洋沿岸)
- 1964/03/28 アラスカ地震 (M=9.2、太平洋沿岸)
- 1960/05/22 チリ地震 (M=9.5、太平洋沿岸、死者・不明者142人)
- 1952/11/04 カムチャッカ地震 (M=9.1、太平洋沿岸)

【北海道東岸～房総の太平洋沿岸】

- 2011/03/11 東北地方太平洋沖地震 (M=9.0、北海道～房総太平洋沿岸、死者・不明者20千人以上)
- 1994/10/04 北海道東方沖地震 (M=8.2、根室・釧路地方、死者10人以上)
- 1968/05/16 十勝沖地震 (M=8.2、北海道～東北沿岸、死者52人)
- 1952/03/04 十勝沖地震 (M=8.2、北海道～関東沿岸、死者・不明者33人)
- 1933/03/03 昭和三陸地震 (M=8.1、三陸沿岸、死者・不明者3,064人)
- 1896/06/15 明治三陸地震 (M=8.5、三陸地方、死者21,959人)
- 1703/12/31 元禄地震 (M=7.9～8.4、犬吠埼～伊豆半島、死者30千人以上)
- 1677/04/13 延宝房総沖地震 (M=8.0、磐城～房総、死者500人余)
- 1611/12/02 慶長三陸地震 (M=8.0、北海道東岸～三陸沿岸、死者47千人以上)
- 869/07/19 貞観地震 (M=8.3、三陸沿岸、死者1千人)

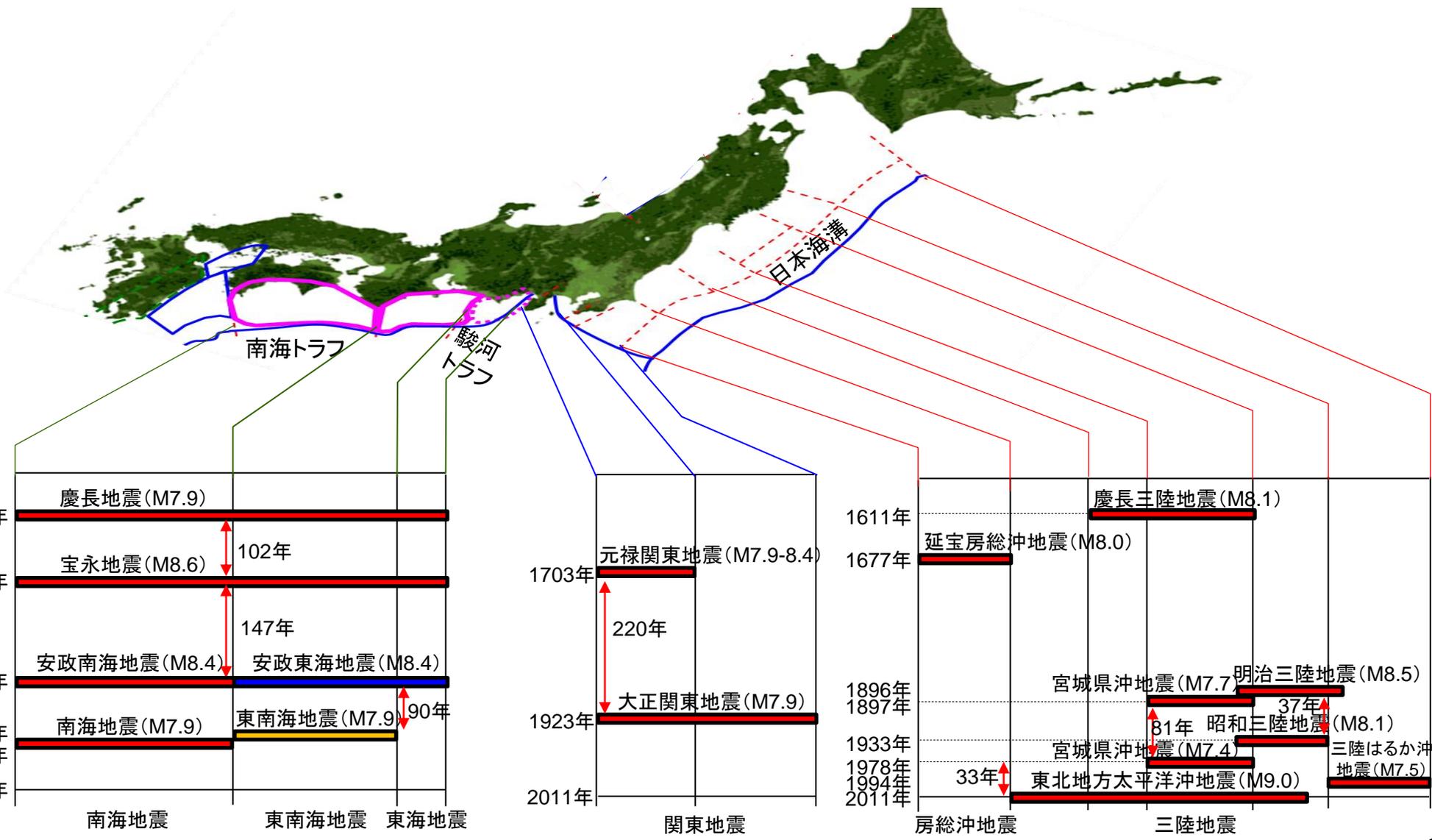
【房総～沖縄の太平洋沿岸】

- 1946/12/21 南海地震 (M=8.0、静岡～九州、死者1,443人)
- 1945/01/13 三河地震 (M=6.8、愛知県南部、死者2千～3千人)
- 1944/12/07 東南海地震 (M=7.9、東海道沖、死者1,223人)
- 1941/11/19 日向灘地震 (M=7.2、日向灘、死者2千人)
- 1923/09/01 関東大地震 (M=7.9、関東南部、死者・不明者14万2千人余)
- 1854/12/24 安政南海地震 (M=8.4、房総～九州、死者数千人)
- 1854/12/23 安政東海地震 (M=8.4、東海・南海諸道、死者2千～3千人)
- 1781/04/00 桜島噴火 (噴火、鹿児島、死者数8千人)
- 1771/04/24 八重山地震 (M=7.4、石垣島、死者数12千人)
- 1792/05/21 眉山山体崩壊 [島原大変肥後迷惑] (噴火、島原・天草・肥後、死者数15千人)
- 1707/10/28 宝永地震 (M=8.6、伊豆半島～九州、死者39千人以上)
- 1605/02/03 慶長地震 (M=7.9、東海・南海・西海諸道、死者2,357人余)
- 1498/09/20 明応地震 (M=8.2～8.4、東海道全般、死者41千人余)

※ ●: 海溝型、断層による津波 ●: 噴火等による地震 ⊗: 概略の震源位置

※参考資料: 理科年表、日本被害津波総覧(渡辺偉夫 著)

3-2 主な海溝型地震の発生間隔



※参考資料「地震考古学」(中公新書)、日本被害津波総覧(東京大学出版会)、日本の地震断層パラメータハンドブック(鹿島出版会)

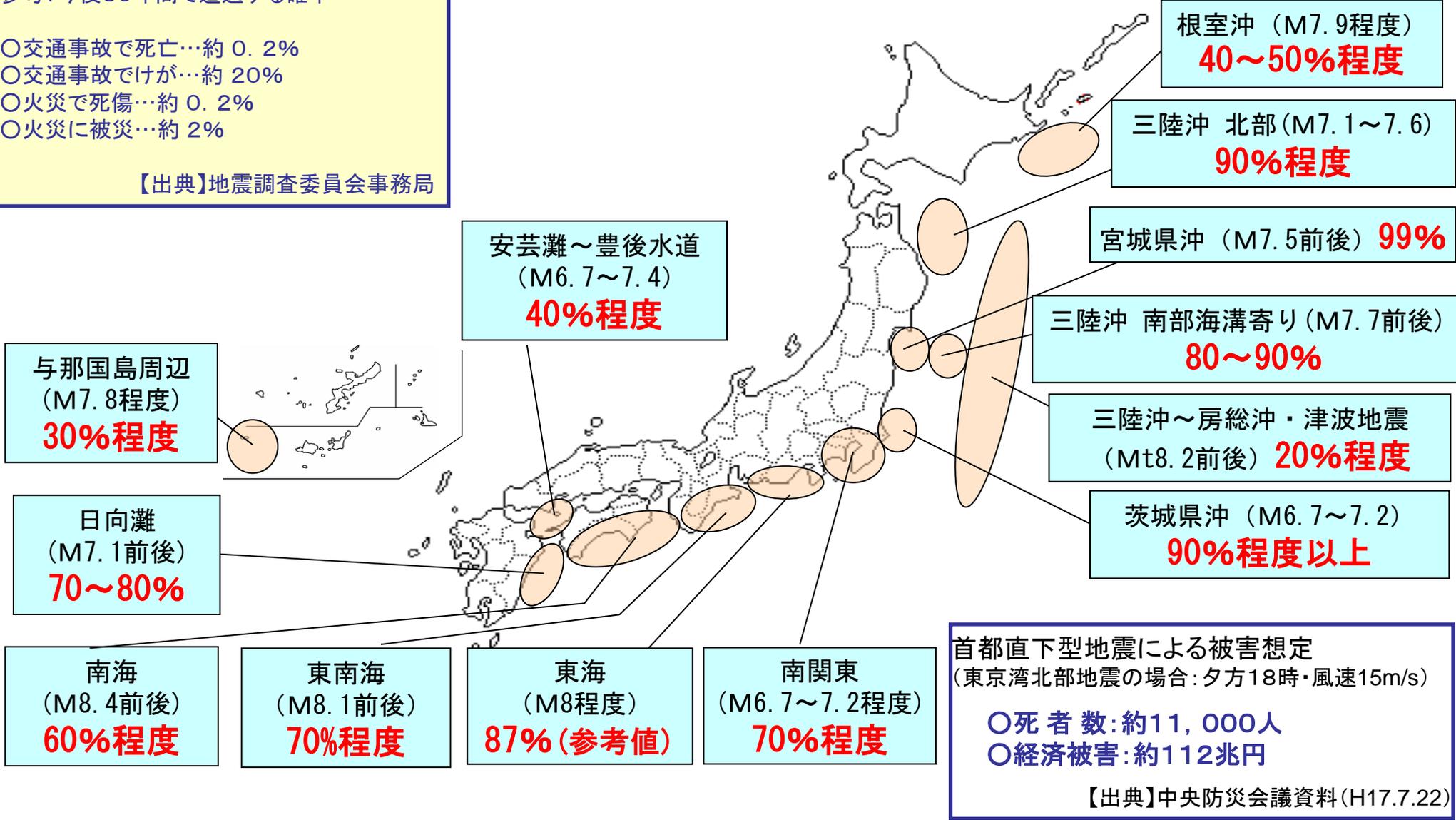
3-3 海溝沿いの主な地震の今後30年以内の発生確率

地震調査研究推進本部「海溝型地震の長期評価の概要」
(算定基準日 平成23年(2011年)1月1日)より作成

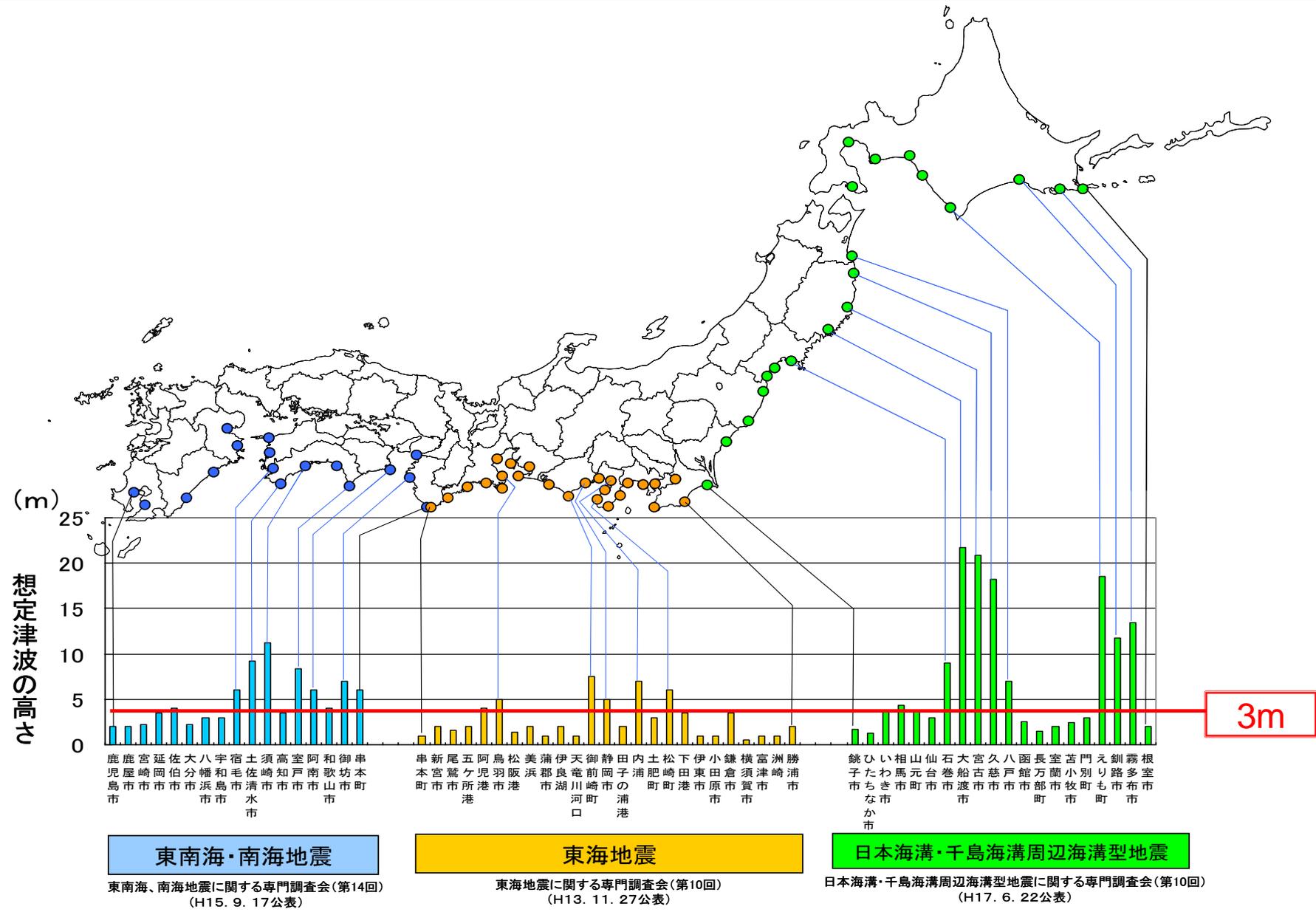
参考: 今後30年間で遭遇する確率

- 交通事故で死亡…約 0.2%
- 交通事故だけが…約 20%
- 火災で死傷…約 0.2%
- 火災に被災…約 2%

【出典】地震調査委員会事務局



3-4 これまでの中央防災会議における想定津波高



3m

東南海・南海地震
東南海、南海地震に関する専門調査会(第14回)
(H15. 9. 17公表)

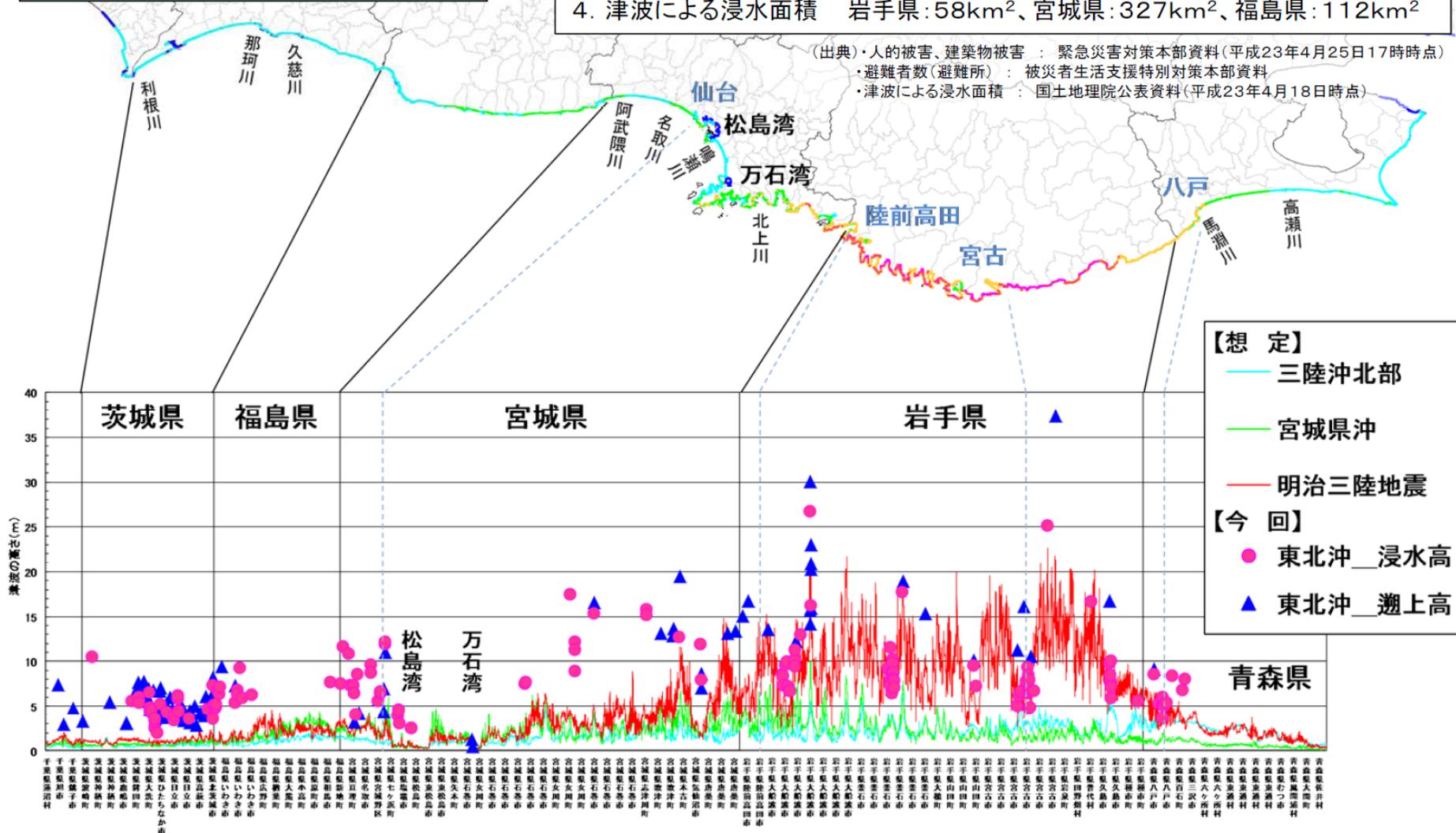
東海地震
東海地震に関する専門調査会(第10回)
(H13. 11. 27公表)

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震
日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会(第10回)
(H17. 6. 22公表)

想定3地震と今般の地震の津波高の比較

- | | |
|--------------|--|
| 1. 人的被害 | 死者: 14,340名、行方不明者: 11,889名 |
| 2. 建築物被害 | 全壊棟数: 68,237戸、半壊棟数: 25,563戸 |
| 3. 避難者数(避難所) | 468,653名(3月14日(ピーク時)) |
| 4. 津波による浸水面積 | 岩手県: 58km ² 、宮城県: 327km ² 、福島県: 112km ² |

(出典)・人的被害、建築物被害 : 緊急災害対策本部資料(平成23年4月25日17時時点)
 ・避難者数(避難所) : 被災者生活支援特別対策本部資料
 ・津波による浸水面積 : 国土地理院公表資料(平成23年4月18日時点)



7 (出典)・想定3地震の津波高: 日本海溝・千島海溝周辺型地震対策に関する専門調査会想定結果
 ・2011年東北地方太平洋沖地震浸水高、遡上高: 土木学会海岸工学会調査結果